

第74回ベルリン国際映画祭に関連して文化庁が実施する取組について

文化庁は平成15年度から「日本映画の海外発信事業」として、海外映画祭における出展や海外映画祭への若手監督の派遣など日本映画の効果的な魅力発信につながる取組を実施しています。本事業の一環として、第74回ベルリン国際映画祭において、日本映画の魅力発信や海外の映画関係者との交流促進・関係強化に資する取組を下記のとおり予定しています。

令和5年度においては、新たに在ドイツ日本国大使館主催(文化庁、経済産業省協力)のレセプションでの取組(③)を実施予定です。

①併設見本市における「ジャパン・ブース」の出展

ベルリン国際映画祭併設見本市である「ヨーロッパ・フィルム・マーケット(EFM)」において、下記のとおり「ジャパン・ブース」を出展します。共有ブースとして9社(予定)の企業が参加します。日本映画の制作者や代理者による海外広報・営業活動の拠点として、広報活動や海外公開に向けた取組等を支援します。また、若手日本人映画監督海外プロモーション(②)の活動拠点としても活用します。

○ブース設置期間: 令和6(2024)年2月15日(木)～2月21日(水)の7日間

○会場: 映画祭併設見本市「ヨーロッパ・フィルム・マーケット(EFM)」メイン会場
マルティン・グロピウス・バウ

○ブース面積: 45 m²(出展者スペース/受付/イベントスペース/スタッフスペース/倉庫含)

○共有ブース使用企業: 9社(予定)

○過去のジャパン・ブースの様子



②若手日本人映画監督による海外向けプロモーションの実施

この数年国内外においてめざましい活躍をみせる若手日本人映画監督をベルリン国際映画祭及び併設見本市へ派遣します。本年度は、金子由里奈、工藤将亮、藤元明緒の3名の監督を派遣し、講義・ワークショップへの参加やスピードデーティングの実施等を通じ、監督自身の国際的な知名度の向上、業界関係者とのネットワークの構築等を支援します。

【参考1】若手日本人監督海外プロモーションにおける派遣監督3名の決定

③在ドイツ日本国大使館主催「Japan Night」への若手日本人映画監督参加による交流機会提供

ベルリン国際映画祭開催期間中に、在ドイツ日本国大使館で開催されるレセプション「Japan Night」に若手日本人映画監督3名が参加し、ベルリン国際映画祭の機会を利用した参加者等との人脈構築や交流機会を提供します。本レセプションは在ドイツ日本国大使館が主催し、文化庁、経済産業省が協力して開催します。

【参考2】在ドイツ日本国大使館主催(文化庁、経済産業省協力)「Japan Night」の開催概要